

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	栃木県	事業実施主体	栃木市	地域再生計画名	“自然” “歴史” “文化” が息づくまち “とちぎ” 水活力再生計画				
計画期間	平成26年度～平成30年度	評価責任者	栃木市						

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数	
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	汚水処理施設の整備の促進（汚水処理人口普及率）	72.4(栃) 67.5(岩)	H25	78.0(栃) 68.5(岩)	H28	77.2(栃) 70.4(岩)	82.0(栃) 69.5(岩)	H30	78.0(栃) 73.7(岩)	△	公共下水道、個人設置型浄化槽設置の整備による施策の効果により普及率は向上したが、整備量が目標に届かなかったため、栃木地域（岩舟地域を除く）の普及率は目標値を達成できなかった。岩舟地域は目標値を達成できた。
	指標 2	観光資源の有効活用	230万人	H25	240万人	H28	557万人	250万人	H30	554万人	○	目標値を上回る観光客を誘致することが出来た。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	市民共同による水環境学習の推進	年0回	H25	年3回	H28	年3回	年3回	H30	年2回	△	年2～3回を目途に学習会を実施した効果により、自然環境や河川の水質の保全に対する意識向上が図られた。
	指標 2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度 (H28)	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	汚水処理施設整備交付金（公共下水道）		57,840m	32,875m	50,942m	公共下水道の整備実績は、計画比の88%の達成率であったが整備効果により地下水や河川水の水質向上が図られた。事業期間内に整備方針が変更されて、市街化区域内を優先的に整備したが、進捗が遅れたため目標整備量に達しなかった。普及率向上のため引き続き整備を推進する必要がある。						
	汚水処理施設整備交付金（個人設置型浄化槽）		1,461基	620基	963基	個人設置型浄化槽は、住宅新築に伴う申請件数が見込みより少なかったため、設置数が目標値に達しなかった。普及率向上のため引き続き整備を推進する必要がある。						
その他の事業	河川の一斉清掃		年3回の草刈り・ゴミ拾いを実施			多数の地元住民や市職員の協働参加により年3回実施した。計画期間中に延べ72,686人の方に参加いただき、環境美化に貢献できた。						
	未水洗化世帯への戸別訪問による普及促進活動		未接続者に対する普及・啓発活動			強化期間を定めて、市職員を中心に全地域の未接続者宅を戸別訪問して普及啓発活動を行った。						
	市民協働による観光地づくりの推進		市民との共働による観光地づくりに取り組む			蔵の街や渡良瀬遊水池、道の駅等を有効活用し、観光客入込み数の増加を図ることができた。						
	水環境学習の推進		年2回の学習会を実施			親と子の水辺教室と題して有識者を講師に迎え、きれいな水のあり方について親子で学習した。5年総計で322人の方に参加いただき、環境保全に対する意識向上を図ることができた。						
計画外で独自に実施した事業												
④評価方法	担当課で評価検討を行い、その結果について総合戦略有識者会議に諮って学識経験者に意見を頂くことで評価とする。											
⑤事後評価の公表方法	栃木市ホームページに掲載。											
⑥計画全体の総合評価	公共下水道及び個人設置型浄化槽の整備に関して、計画整備量まで達成することができなかったため、汚水処理人口普及率も計画値に達しなかった。市民との協働作業はおおむね順調で、水環境学習会や河川の一斉清掃により公衆衛生の改善・環境意識の向上を図ることが出来た。観光客入込み数は大幅に増加し、成果があった。											
⑦今後の方針等	事業終了時の栃木市の汚水処理人口普及率は77.5%に向上したが、全国平均91.4%や栃木県平均87.0%を大きく下回っており、公共下水道・個人設置型浄化槽の整備を引き続き推進して行きたい。											